

学園便り

Vol.106

特集 **学部改組** 2~3

ホットな話題・研究 4~5
木材由来のnew carbonに挑戦／地震災害に強い社会システムの構築を目指して

TOPIC 6~7
履修相談／父母懇談実施／東北北海道国立三大学体育大会

一号館完成 8

お知らせ 9
e-ラーニングについて／大学祭日程

サークル紹介 10~11

学事日程 12



特集 学部改組

北見工業大学は

生まれ変わります

平成20年4月、北見工業大学は、社会や学生のニーズに対応した教育組織体制を実現するため、各学科には専門分野のコースを2コース置き、専門性を高める人材養成を目指し、また、会社やプロジェクトなどを企画立案する力、それらを管理・運営していく力など総合企画力を有した人材養成を目指して、3系列・6学科・13コース(図1)に改組します。

平成20年度教育組織の改組

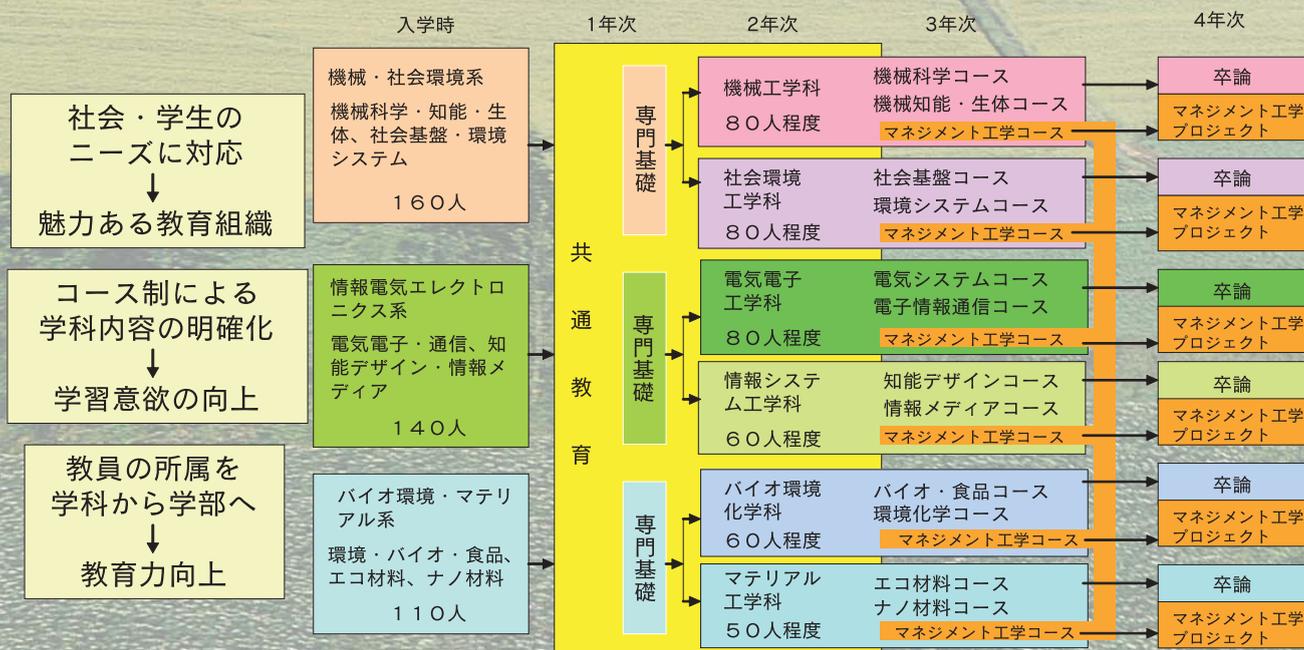


図 1

これは、時代の変化とともに工学分野が多様化する中、入学時点で自分が本当に学びたい学科を絞り込むことが難しい学生も少なくないことから、新体制では、類似する2学年を1系列として系列ごとの学生募集を行い、2年進級時に学科を選択できるようにするものです。

1年次は、数学・物理学・英語などの教養科目や系列内での共通した

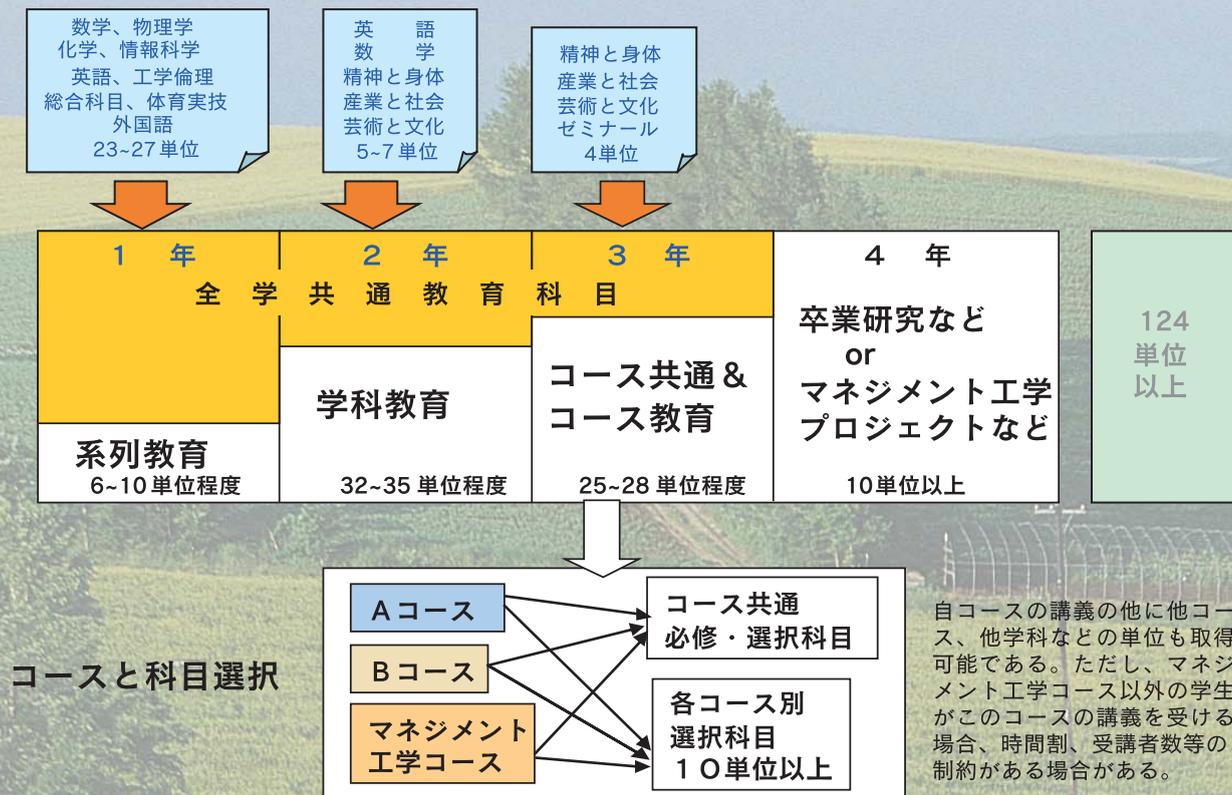
工学基礎科目を中心に学び、自分の適性や専門的に学びたい分野を見極めた上で、2年進級時に学科を選択し、3年次には、各学科の中の特色ある教育を目指したコースを選択して、より専門性の高い人材育成を行います。

さらには、社会に出た後、企業ではマネジメントの視点を備えたエンジニアが求められてきていることか

ら、全学科の学生が選択することができるマネジメント工学コースを設けて、学科の専門基礎知識とマネジメント工学的知識を持った人材育成を目指すものです。

学生の皆さんには、本当に学びたい分野を選択して勉学に励み、十分な知識や技術を身につけ、専門的な資格取得を目指すなどして、社会で活躍して欲しいと思っています。

学年進行と授業科目・単位の概要



木材由来のnew carbonに挑戦

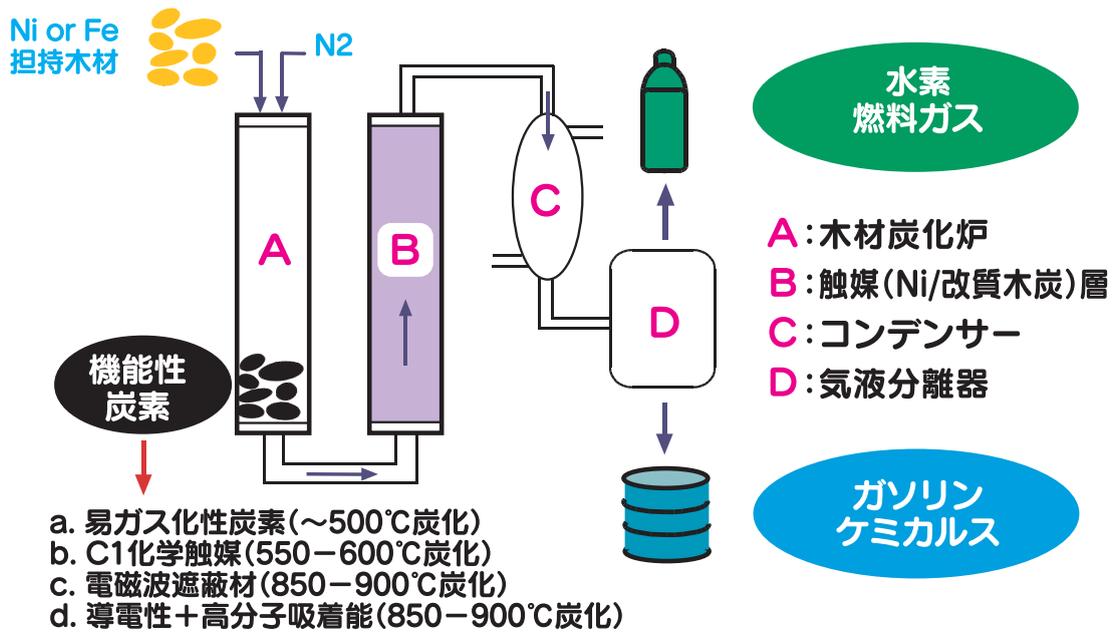
木質系バイオマスエネルギー高度利用研究推進センター長 鈴木 勉

昨年3月バイオマス・ニッポンが再策定され、我が国でもバイオマス（生物資源）の利活用推進が今後の産業、経済、社会活動における明確な指針となった。バイオエタノール、バイオディーゼルが本格的操業に移行しつつある一方で、本命である木質系バイオマス（木材）のエネルギー転換（油化、ガス化）は依然として五里霧中の感がある。出口を見つけるには、視点を改めるのが賢明だろう。木材は元々燃料向きの原料ではないのだから。

本センターでは、鉄系の触媒炭化による木材のエネルギー+マテリアルの同時生産プロセスの実用開発を目指している。この触媒炭化法の主眼は付加価値の高い木炭の製造にあり、下図が想定する実操業プラントである。収率3割の木炭の新・高機能化が軽質油+水素リッチガスの7割生産につながることを強調しておきたい。このプロセスは、昨年触媒層B未設置で北海道開発事業「高機能性炭素変換による木材のエネルギー及びマテリアル変換利活用調査」

による実証試験を行い（成果等は国交省北海道開発局HPに公開中）、実用化に向け大きく前進した。結晶性でメソ孔リッチなこの木炭は、今夏からJST受託研究として電気二重層キャパシタ電極用炭素としての適性を調査する。リボン状のスパイラル構造はユニークな生成過程をも物語っており、この木材由来のnew carbonの全貌解明は正にチャレンジングである。

木質系バイオマスの触媒炭化 機能性炭素と高品質液体、気体燃料の同時生産プロセス



地震災害に強い社会システムの構築を目指して

寒地地震防災研究推進センター 准教授 伊藤 陽 司

寒地地震防災研究推進センターは積雪寒冷地における地震防災に関する研究を推進するために、社会基盤の耐震性に関する専門家や地震被災の軽減に関する専門家が結集し、2005年4月に発足しました。

北海道東部太平洋岸は千島海溝沿いで発生するM7～8クラスの巨大地震の度に大きな被害に見舞われてきました(図1)。また、国内での最近の地震災害として1995年兵庫県南部地震、2004年新潟県中越地震、2005年福岡県西方沖地震、2007年能登半島地震、そして2007年新潟県中越沖地震など、これまで地震災害を経験していない地域での地震発生と大規模被災が挙げられ、日本列島に地震の安全地帯は存在しないと言っても過言ではありません。さらに、これら地震のよる被害の様相は大都市、山間地、高齢化地域といった地域特性によって著しく異なっています。

図2は古い時代の情報がやや不足していますが、オホーツク地域でのさまざまな災害の発生状況を示しています。昨年末から今年にかけて千島列島を震源とするM8クラスの地震が2度、網走沖を震源とする地震(M4.8)、そして2007年4月29日には興部町の海岸近くを震源とする地震(M3.0)が発生しています。2006年11月千島列島地震では北海道太平洋岸東部とオホーツク海沿岸に津波警報が出され、同時に避難勧告が出されました。しかし、この地域の避難率は回を追う毎に著しく低下し、「慣れ」が懸念されることとなりました。広報や避難方法などで寒冷期の課題もクローズアップしま

した。

私たちの生活する場が地震災害だけでなくさまざまな災害と無縁でないことや地震に積雪・寒冷や大雨と言った条件が加わった場合の複合災害も意識し、日頃からの備えが防災・減災にとって重要とことから、当センターは諸機関・団体のご協力を得て、道東の各都市でフォーラムを開催してきました。

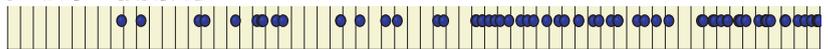
地域住民と行政および大学がそれぞれ取り組むべき課題について意見交換し、

活動を大きな連携の輪として継続することによって地域全体として災害に柔軟に耐えうる社会システムの構築に貢献できればと考えています。

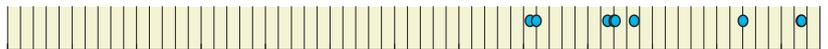


図1 2003年十勝沖地震による盛土道路の被災

大雨・洪水・強風災害



大雪災害



融雪災害



火山災害・火山噴火



地震災害・地震



地すべり災害



西暦年

図2 オホーツク地域での災害

TOPIC

4月16日～

短期履修相談を実施

4月16日から6月27日まで、本学名誉教授 森 訓保 氏による「短期履修相談」が実施されました。相談室は、毎週月、水、金の午後3時から午後5時までの間、開放され、期間中、100人近くの学生が相談に訪れました。森名誉教授は、この3月に土木開発工学科を定年退職したばかりで、長年の学生指導の経験を踏まえつつ、ユーモアを交えながら、学業のみならず生活面全般に渡って親身に学生の悩みに答え、相談した学生の間では大変好評でした。



5月27日

父母懇談会実施（札幌会場）

平成8年度から実施されている「父母懇談会」が、今年度も春季は5月27日（日）に北海道大学学術交流会館を会場として、道央・道南地域に在住の学部2～4年次及び大学院博士前期課程2年次の父母を対象に開催された。

当日は、83組126名の父母が参加し、大島副学長からは「本学の使命とその特色」について、小林副学長からは「本学の教育及び就職状況等」について、それぞれパワーポイントを使って、さらに、澤野学生

後援会会長からは「後援会の活動状況等」について説明があった。

その後、各学科、専攻に分かれて行われた個別面談では、各学科の教

員が対応し、父母からは修学状況、就職問題等について質問が出され、熱心にやりとりが交わされた。



全体説明会の様子

TOPIC

5月26日～

第39回 東北北海道国立三大学体育大会

平成19年5月26日(土)～27日(日) 本大会
6月9日(土)～10日(日) プレ大会(卓球, 羽球)

上記日程で第39回東北北海道国立三大学体育大会が帯広畜産大学を主会場として帯広市で実施されました。

北見工業大学、帯広畜産大学、北海道教育大学釧路校の各サークルが日頃の練習の成果を競い合い、各種目とも熱い戦いが繰り広げられました。

結果は以下のとおりです。

優勝 北海道教育大学釧路校
第2位 北見工業大学
第3位 帯広畜産大学

競技種目	帯広畜産大学	北見工業大学	北教大釧路校
野球	2位	3位	1位
ラグビー	2位	3位	1位
硬式テニス(男)	2位	1位	3位
硬式テニス(女)	オープン種目(1位畜大, 2位釧教)		
ソフトテニス(男)	2位	1位	3位
ソフトテニス(女)	1位	3位	2位
バスケットボール(男)	3位	2位	1位
バスケットボール(女)	1位	3位	2位
バレーボール(男)	オープン種目(1位畜大, 2位北工)		
バレーボール(女)	オープン種目(1位釧教, 2位畜大)		
卓球	3位	1位	2位
バドミントン(男)	3位	2位	1位
バドミントン(女)	オープン種目(1位釧教, 2位畜大)		
剣道(男)	2位	3位	1位
剣道(女)	オープン種目(1位釧教, 2位畜大)		
柔道	オープン種目(1位北工, 2位畜大)		
弓道(男)	2位	1位	3位
弓道(女)	オープン種目(1位畜大, 2位釧教)		



一号館・図書館の一部が 新しくなりました



国際ラウンジ

留学生の交流の場です。



中庭



正門



国際交流センター



ものづくり工房



学生支援課・入試課



就職支援室

たくさんの就職に関する資料があるほか就職支援室員による進路相談も行っています。



学生支援課・入試課前室



通路



図書館



明るくて利用しやすくなりました。学習スペースも充実しています。

お知らせ

e-ラーニングシステム導入！

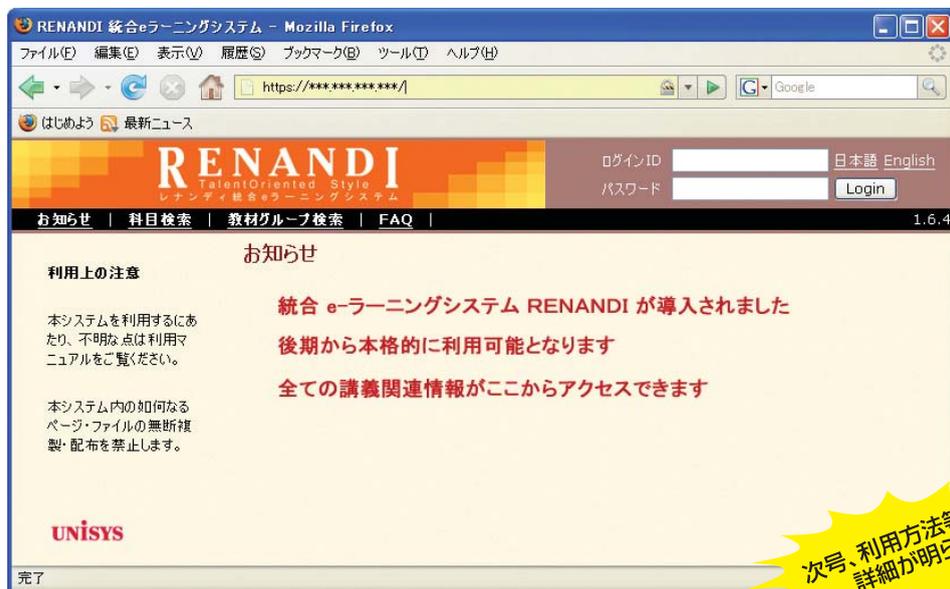
情報システム工学科 三波 篤郎

ほとんどの情報がインターネットを通して配信される時代、大学の講義情報も例外ではありません。アメリカでは、すでに10年ほど前から、授業に関わるあらゆる情報を学生に提供するためのサイトを多くの大学が開設しており、日本においても最近、そのようなシステムを導入する大学が増えています。本学では18年度か

ら準備を進め、統合 e-ラーニングシステム「RENANDI」の導入作業がほぼ終わりました。後期から本格的な利用が可能となります。

この「RENANDI」は、e-ラーニングに関わる数多くの機能を持っていますが、当面の利用法としては、講義関連情報や関連ファイルの配信、そしてレポートのホーム

ページ上での提出などが主となると思われます。学生の皆さんにとっては、一つの入り口から、全ての講義のページにアクセスできることになります。また、講義をその資料とともに録画配信する機能もありますので、いろいろな活用方法が期待されます。



次号、利用方法等
詳細が明らかに

大学祭日程決定!!

はしかの影響で延期になっていた大学祭が10月20日(土)～21日(日)の日程で行われることとなりました。10月20日には父母懇談会(北見会場)も予定しており、学生・近隣住民・父母等たくさんの参加お待ちしております。



サークル紹介

軟式野球部

軟式野球部です。今年から軟式野球『部』として名乗れるようになりました。野球部、ときくと大抵の方々はボールの硬い方、硬式野球の方を想像するかもしれませんが、今、とてもフィーバーしていますね。しかし、軟らかいボールもアツいのです！…今の時期の活動内容としては、基本的には、土曜日、日曜日の9：00～12：00に工大のグラウンドにて練習。というのが主流です。他には練習試合、公式戦が入ることがあります。冬は体育館で練習、自主練習をしています。

今年はやル気のある新入部員が大

勢入りました。また、この部の長所である、みんな仲良し、があるためチーム全体で盛り上がってます。軟式であるため小中学、高校と幅広い経験者と全くの初心者などが集まっています。このようなチームで上のクラス昇格を目指してがんばっていきましょう。



カーリング部

私たちカーリング部は、4月から10月までのシーズンオフは体育館等で筋力トレーニングや体力作りをメインに、11月から3月までのシーズン中はカーリングホールで実際に氷の上で練習し、大会等でより優秀な結果が残せるように活動しています。

カーリングは「氷上のチェス」とも呼ばれ、ただストーンを投げるだけではなく、氷の状態を把握し、先を読んで作戦を立て、正確なショットを投げるという、頭と体両方を十分に使う競技です。また、カーリングは技量と伝統のスポーツで、ただ勝てば良いというわけではなく、ルールやマナーというものをとても重んじています。なので、カーリングをプレーする人には、立派なスポーツマンシップ、親切な思いやり、高潔な態度が強く求められています。このことは、「カーリング精神」というものに示されています。さらにカーリングは4人1チームで行う競技なので、4人のチームワークも問われます。4人が一丸となって1つのショットを決めることができたときの喜びは格別です。

カーリング部は、今年度より「部」に昇格しました。これからは、より一層練習に励み、去年以上の成績が残せるように努力していきたいと思

います。まだ部員も募集していますので、興味のある方はぜひ覗いてみてください。



学 事 日 程

2007年

4月1日(日) ~ 4月8日(日)	春季休業日
4月5日(木)	入学式 (編入生を含む)
4月6日(金)	新入生ガイダンス
4月9日(月)	前期授業開始
5月1日(火)	休講 開学記念日振替
5月2日(水)	臨時休講
6月19日(火)	金曜日授業振替日
6月22日(金)	休講
8月1日(水) ~ 8月10日(金)	前期定期試験
8月11日(土) ~ 9月24日(月)	夏季休業日
9月14日(金)	学位記授与式
9月25日(火) ~ 9月28日(金)	集中講義期間・補講等調整期間
10月1日(月)	後期授業開始
10月1日(月)	秋季入学式
10月19日(金)	休講 (大学祭準備)
12月6日(木)	金曜日授業振替日
12月7日(金) ~ 1月6日(日)	休講 推薦入学試験 (予定)
12月22日(土) ~ 12月27日(木)	冬季休業日
12月25日(火)	4年次再試験 (卒業予定者)

2008年

1月7日(月) ~ 1月10日(木)	集中講義期間
1月11日(金)	補講日 (10月19日)
1月15日(火)	月曜日授業振替日
1月16日(水)	金曜日授業振替日
1月18日(金) ~ 1月20日(日)	休講 大学入試センター試験準備
1月19日(土) ~ 2月22日(金)	大学入試センター試験
2月12日(火) ~ 3月31日(月)	後期定期試験 (卒業研究審査を含む)
2月23日(土)	学年末休業日
3月12日(水)	後期日程入学試験
3月17日(月)	学位記授与式
3月31日(月)	20年度編入生ガイダンス

平成19年7月発行

北見工業大学「学園便り」編集委員

射水 雄三 (機能材料工学科)

榎本 浩之 (土木開発工学科)

福士 航 (共通講座)

ご意見・ご感想、掲載して欲しい記事、
イラスト・写真等を募集しています。

E-mail : gakusei03@desk.kitami-it.ac.jp
(学生支援課学生支援係)

下記URLにて「学園便り」のバックナンバー(VOL.89~)がご覧になれます。
http://www.kitami-it.ac.jp/students_info/life/dayori.html

●●● 学生支援課は『あなた!』を支援します。 ●●●